

# バスケットボール戦評記入用紙

大会 平成30年度 関東高等学校バスケットボール大会 埼玉県予選会  
日時 平成 30 年 5 月 18 日 金 曜日 第 3 試合 F コート 時刻 13:00  
場所 越谷市立総合体育館 記入者名 中村 敬子

A チーム	得点		得点	B チーム
		$\left( \begin{array}{r} 6 - 31 \\ 17 - 20 \\ 21 - 21 \\ 21 - 19 \end{array} \right)$		
星野 高校	65		91	昌平 高校

## <戦 評>

- 1P 立ち上がり昌平がスクリーンを上手に使った#9の確率の高いジャンプシュートと#7のスピードあふれるドライブでゲームの主導権を握る。余裕のある昌平は、ディフェンス面においても高い予測能力を発揮し、星野の攻撃をシャットアウト。星野は昌平の勢いに圧倒され自分たちの力を出し切れずに6-31と大差をつけられ 1P 終了。
- 2P 星野は徐々に落ち着きを取り戻し、本来の思い切りの良いシュートでリズムをつかむ。一方昌平も相変わらず確率の高い#9のシュートと球際の強さでルーズボールを支配し速攻へとつなげ得点。途中#9が捻挫で退場し勢いが弱まるが、51-23 昌平のリードで終了。
- 3P 星野はディフェンスを1-3-1ゾーンにする。昌平は外からのシュートが多くなりシュートの確率も悪くなると、上背に勝る星野はリバウンドを支配し、早いタイミングで、#6、#7が積極的にシュートを放つ。昌平はディフェンスからリズムを取り戻そうとするが、ファウルがかさみ 4 ファウル。相手にフリースローを与えてしまう。このピリオドは同点。44-72 昌平のリードは変わらず終了。
- 4P 最終ピリオドも、星野は早いタイミングで積極的にシュートを打っていくが、なかなか昌平の得点を止めることができない。それでも星野は最後まであきらめず果敢によく戦ったが、1P についた差はいかんともしがたく、最終スコア65-91で昌平が勝利。関東大会の出場権を獲得した。